



Rotary

第2650地区

彦根南ロータリークラブ



「ロータリーは世界をつなぐ」

RI会長 マーク・ダニエル・マローニー

「伝統と革新 世界はひとつ」

RI2650地区ガバナー 佐竹 力總

「ロータリーは地域をつなぐ」

彦根南ロータリークラブ会長 田中 寿信

会長：長：  
 副会長：エレクト：  
 幹事：  
 会計：  
 SAA：  
 クラブ：  
 公共：  
 クラブ：  
 奉仕：  
 財団：  
 会長担当理事：  
 副会長担当理事：  
 幹事担当理事：  
 会計担当理事：  
 SAA担当理事：  
 クラブ担当理事：  
 公共担当理事：  
 クラブ担当理事：  
 奉仕担当理事：  
 財団担当理事：

信仁 司 彦 治 隆 郎 史 宏 幸 輝 和  
 寿 賢 正 公 良 一 泰 芳 忠 正 正  
 中 村 村 藤 菅 野 田 川 村 山 上 本  
 法 西 佐 大 森 上 北 田 丸 村 梅

# No.10 2019年 9月28日(SAT) 第1962回例会 Vol.43

## 本日のプログラム

介護支援事業「認知症の介護を語る」-ひとりで悩まず地域でつなぐ-

### 社会奉仕委員会担当

#### 「認知症の介護を語る」-ひとりで悩まず地域でつなぐ-



会長 田中 寿信

本年度の社会奉仕事業として、この度「認知症の介護を語る-ひとりで悩まず地域でつなぐ-」と題しまして、認知症家族に関わる心のケアサポートできるように、この事業を企画いたしました。特に人と人とのネットワークを生かして、地域の真のニーズを見極め、「地域のつながりを大切に地元密着の活動」をし、責任を持って粘り強く活動し、その場限りではなく、持続可能な成果をもたらすことを目指しています。

を

この度、認知症介護家族に対し、「豊栄のさと」におきまして第一部で専門の先生による講演、そして介護士と介護家族の集いの代表の方の体験談をお話して頂きます。第二部では「ユマニチュード」という包括的なコミュニケーションに基づいたケア技法を学んでいただきます。第三部は、先生方や看護師を交えた「認知症ケアのためのトークセッション」で来場者の方々の悩みにお答えします。

この事業を通じて日々向き合って共に生きようとされている介護従事者をより支援していきたくと考え、認知症の専門的な内容と看護師からの視点での認知症患者の現実と体験実話を載せた冊子も刊行いたしました。

近年、認知症の患者は増加の一途をたどり、患者を抱える家族の負担は計り知れない大きな社会問題となっています。特に介護に関わるみなさまへの情報交換と地域医療が一体となって、介護家族の精神的、肉体的な負担を少しでも緩和できることが大切です。この事業が終わりの見えない認知症介護の現実、一人で悩まず周りのみんなと、地域との「つながり」で介護という現実と上手く向き合っていけ、介護に関わる方々への心と身体のケアサポートの一助になれば幸いです。

#### プログラム

「豊栄のさと」

11:00~

開会点鐘

ロータリーソング

「それでこそロータリー」

会長の時間

幹事報告

委員会報告

SAAの時間

ニコニコBOX

出席報告

閉会点鐘

食事

13:00~

本年度事業

「認知症の介護を語る」

-ひとりで悩まず地域でつなぐ-

本日のお弁当

竹平楼さん

10月 1日プログラム

振替休会

10月 8日プログラム

クラブフォーラム

認 証 1978年6月15日  
 例会日 毎週火曜日 12:30~13:30  
 例会場 ビバシティホール  
 〒522-0044 滋賀県彦根市竹ヶ鼻町43-1

事務局 〒522-0043 滋賀県彦根市小泉町160-4  
 TEL 0749-23-2102 FAX 0749-23-2108  
 U R L <http://hikoneminami-rc.com>  
 E-mail [minamirc@oregano.ocn.ne.jp](mailto:minamirc@oregano.ocn.ne.jp)

## 前回例会報告



第1961回例会は、田中会長の開会点鐘後、ロータリーソング「おおロータリー」唱和、会長の時間では、田中会長から第31回彦根南RC杯湖東ちびっこ野球大会閉会式の報告がありました。



例会タイムは、クラブフォーラムとして、土沢社会奉仕委員長と村上理事より、9月28日(土)の本年度事業「認知症の介護を語るーひとりで悩まず地域をつなぐー」の当日の流れ、役割について説明がありました。その後、佐藤副会長から改めて、趣旨と認知症について説明していただきました。



認知症は、原因も不明で根本的な治療ができない疾患ですが、誰にでも起こりうる問題で、高齢化が進む昨今、患者を支える家族の負担は大きな社会問題となっています。症状には、記憶障害や見当識障害などの中核症状と、行動や心理面に現れる周辺症状があり、患者本人もとまどいがあるなかで、周辺症状を指摘されることでトラブルが生じやすく、対応を誤ると、患者本人だけでなく介護する家族や周りが大きなダメージを負うことがあります。そのため、認知症の対応では、早めに専門家の診断や助言を受け、周辺症状が起こるのを早期に防ぐことだと重要とのことです。また、その予防には、運動、成人病を防ぐこと、社会との関わりをもつことが効果的だといったお話をしていただきました。



本事業は、本年度テーマの「ロータリーは地域をつなぐ」に絡め、認知症の介護で地域をつなぎ、介護に関わる方々の精神的な負担を少しでも緩和していくことを目指しています。当日は一致団結して成功させましょう。皆さん、よろしくお願いいたします。

ニコニコ箱 計34,000円 総計622,000円

- ◇橋川副SAA本日は宜しく申し上げます…田中君
- ◇社会奉仕委員会の皆様有難うございます…佐藤君
- ◇昨日の野球の練習お疲れ様でした。自分のできなさにがっかりです…西村君
- ◇SAAの重責を任わせて頂きます…橋川君
- ◇9/28の事業に多数の出席ありがとうございます。当日は宜しく願い致します…村上君
- ◇皆で社会奉仕の事業を成功させましょう…西本君
- ◇25年前、この南から留学させていただいた時のホストブラザーが所属するニュージーランド車イスラグビーチームが2020東京パラリンピックへの出場権を獲得しました。感謝…諸川君
- ◇妻の誕生日自祝…森野君・北川(泰)君・中川君
- ◇創立創業記念日自祝…松岡君
- ◇SAAのお許しを得てお先に失礼します…鳥越君

## 第31回彦根南RC杯湖東ちびっこ野球大会閉会式



第31回彦根南RC杯湖東ちびっこ野球大会の閉会式が9月16日(月祝)におこなわれました。秋晴れの爽やかな天気の中、4年生の部決勝・5年生の部決勝の熱戦の後閉会式が執り行われました。



4年生の部の14チームを勝ち上がったのは、優勝多賀少年野球クラブAチーム、準優勝は豊郷スポーツ少年団でした。5年生の部17チームを制したのは、優勝城陽スポーツ少年団、準優勝は城西スポーツ少年団でした。

閉会式では、優勝準優勝チームにそれぞれ優勝旗とトロフィーが授与され、その後優勝チームには田中会長より、準優勝チームには川地青少年奉仕委員長より、メダルを選手全員に渡されました。田中会長の挨拶の後、選手の堂々たる行進で閉会式の幕が閉じられました。

なお、昨年度5年生の部優勝の多賀少年野球クラブが、8月24日には、円宮賜杯第39回全日本学童軟式野球大会マクドナルド・トーナメントにおいて、2年連続2回目の全国制覇をされています。今年の選手たちもがんばって頂きたいと思います。この大会から巣立っていった選手たちが活躍してくれている事で、今後も青少年育成事業の原動力になり、事業を継続していければと思います。

閉会式の後、我が彦根南RC野球同好会のメンバーは、10月5日のガバナー杯野球大開に向けて、初練習をされました。ちびっ子に負けず優勝目指してがんばってください。皆様お疲れ様でした。



5年生優勝城陽スポーツ少年団



5年生準優勝城西スポーツ少年団



4年生優勝多賀少年野球クラブA



4年生準優勝豊郷スポーツ少年団

## 例会出席報告

	会員数	当日出席	メ・キャップ	出席率
9月17日	67(10)	41(4)	5	75.41%
9月 3日	67(9)	47(4)	11	91.93%

【ソングリーダー】 ◎山田圭輔 ○川地友規 (随時ご指名させていただきます)

【会報雑誌委員会】委員長：田川正人 青山悟士 廣瀬滋夫 宮嶋誠一郎 山田直哉 松岡一隆 西本智彦